

おたけ会

会報第8号

平成五年九月二三日発行
 編集人 南洲吟道会 広報局
 発行人 会長 吉永龍洲
 発行所 〒一六五 中野区白鷺二―三四―五
 (社) 日本吟道学院南洲吟道会

◎創立二〇周年記念大会決定

本会創立二〇周年記念大会は、次のとおり決定しました。皆様の、より一層の吟道ご精進とご協力をお願い致します
 日時：平成六年九月二五日(日)一〇時〜一七時
 場所：練馬区文化センター小ホール(一五周年大会と同じ会場)

◎吟行会 日程決まる

平成五年度吟行会は、次のとおり決定しました。皆様のご予定に入れておいて下さい。先着五〇名様で締切る予定。
 と き：十一月六日(土)〜七日(日)のバス旅行
 ところ：日光 山水館 日光市中宮祠 二四七八 ☎〇二八八―五五―〇三七八

◎平成五年度温習習白会について

会場の都合で、秋季温習習会は新年会を兼ねて次の様に更えます。
 日時：平成六年一月一六日(日)一〇時〜一七時
 場所：竣工なった中野区 野方区民ホール

◎法人正会員三五名となる

(敬称略)

平成五年度新規正会員の方々は次のとおりです。
 今野瑤祥(阿佐谷) 菊田正水(龍陽) 高山翹城(龍陽)
 岡田恭城(龍陽) 吉田徳水(池尻・転入者)
 松本浩祥(龍陽・転入者)

◎新会員の紹介(敬称略)

どうぞ宜しく願います。

既に名簿記載の方は住所を省略します。

龍陽：松本浩祥

鷺宮：池之谷敏二 ☎359新法市山口733 3

☎0429 24 6406

三菱：大谷三郎

渡辺 允

☎185国分寺市西恋ヶ窪2-11-2-114

☎044 888 7063

国分寺：篠三郎

☎185国分寺市西恋ヶ窪4-15-10 1868

☎0423 24

八三三：若林三

☎八三三市めじろ台1-25-10

☎0426 61 3578

西船橋：有馬昭二

野村淳子

☎273船橋市藤原1-30-2-806

☎0473 38 9467

いずみ：奈良あい子

我妻建一郎

☎187小平市小川町1-2199 1-10

☎かしの樹 101

井口英雄

☎185国分寺市西恋ヶ窪1-23-31

☎042324 3456

湯浅 豊

☎府中市白糸台4-44-1車返団地

☎3-10-503 ☎0423-66-0895

島田すみ子

☎183府中市南町4-40-1

☎0423-64-0240

角野由美子 ☎国分寺市富士本1-3-53

☎0425-76-9378

平松玉枝 ☎185国分寺市東元町3-17-12

☎0423-25-5127

宮本：立野裕之 ☎216川崎市宮前区平1-11-1

☎モアクレスト 宮前平302

瑤洋：清水京子

☎044-861-1510

長友倫夫

☎193八王子市散田町3-9-15-603

高山：上江田竹子

☎0426-65-3870

小林澄子

☎175板橋区高島平5-16-7

中町：小泉清太郎

☎03 3939-5118

山田トヨ子

☎03 3939-5118

関根春岳

☎186国立市東2-18-22

守屋靖子

☎0425-73-1686

相川 廣

☎253茅ヶ崎市松浪2-8-11

中村純子

☎0467-82-1453

習志野：三瓶芳昭

☎142品川区中延4-20-21

飯田和子

☎03 3783 4540

古谷日出秋

☎0474-31 7345

近藤 四郎

☎287佐倉市南白井台18-10

小林健次郎

☎043-487-5228

小林健次郎

☎273船橋市南本町28-16

笹木照義

☎0474-31 7345

小山内知行

☎287佐倉市南白井台18-10

萩野 進

☎043-487-5228

小林健次郎

☎273船橋市南本町28-16

笹木照義

☎0474-31 7345

小山内知行

☎287佐倉市南白井台18-10

萩野 進

☎043-487-5228

小林健次郎

☎273船橋市南本町28-16

笹木照義

☎0474-31 7345

小山内知行

☎287佐倉市南白井台18-10

◎訃報

福島 幸龍 師 経理局経理部長福島幸龍先生は、

予て療養中のごとく平成五年五月一日逝去されました。

享年七六歳。ご生前の御厚誼とご功績に感謝申し上げます。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

葬儀には、多数の同志が列席し霊前にて涙ながら弔吟

を捧げました。

総本部から同日付けで「秀傳 幸龍」の称号を授与さ

れ霊前にお供え致しました。

安藤 美祥 師 広報局幹事 安藤美祥先生は、予

て療養中のごとく平成五年八月二六日逝去されました。

享年六五歳。ご生前の御厚誼とご功績に感謝申し上げます。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

葬儀には、多数の同志が列席し霊前にて涙ながら弔吟

を捧げました。

総本部から同日付けで「皆伝 美祥」の称号を授与さ

れ霊前にお供え致しました。齋場から菩提寺での初七

日までその額を捧持され、霊前に供えられておられた

ご遺族のお姿に感激しました。「詩吟が生きて甲斐です」

と仰言っておられた故人のご意志に添っておられま

した。戒名「忠室 美祥 大姉」偶然とはいえ、皆伝の雅

号をもって旅立たれるとは………一同驚きでした。

十月十一日十一時から海雲寺(杉並警察署裏)にて納骨

の儀が行われます。

四月三十日(金) いずみ教場開設一周年記念会

会長、龍暘・大洲副会長始め龍暘、鷺宮、若鷺、阿佐谷、三菱、船橋、八王子各教場等総勢二十三名が参集し、いずみ教場及び市内の料理屋にて、盛大に行われました。荒井鳳祥先生指導のもと弥栄を祈ります。

五月二日(日) 中町教場発会式

会長、龍暘・大洲副会長、佐藤勝祥師外中町教場十名、同志からの祝電、花束に囲まれて、ご自宅の教場にて盛大に行われました。小泉泰祥先生指導のもと弥栄を祈ります。

五月八日(土) 習志野教場発会式

会長、龍暘副会長、吉永旭祥師、船橋教場、習志野教場等総勢二十二名が参集し市内のホテル及びクラブにて盛大に行われました。広瀬正城先生指導のもと弥栄を祈ります。

五月二十三日(日) 本会定時総会&温習会

会長始め全会員の半数以上の出席を得て盛大に開催されました。平成四年度事業報告・会計報告、平成五年度事業予定等の説明があり滞りなく総会を終えて、温習会に移り日頃の練習の成果を充分に発揮しました。

六月十三日(日) 熾日本吟道学院総会

吉永龍洲会長は、同総会にて常務理事待遇に選任されました。会長の弁「皆様の御蔭です。本会の代弁者として学院の奉仕者として努めます。どうぞ宜しくお願ひします」と。

七月三日(土) 四日(日) 伊豆吟行研修会

総本部行事に、会長、龍暘副会長、佐藤(勝)、富沢、高山、村越、武田、荒井(智子)、井口各氏が参加、西伊豆、修善寺の歴史を訪ねました。修善寺温泉「ホテルみゆき」の大宴会でのお吉コンクールに全員出場、武田日舞師匠の艶やかな舞にヤンヤの喝采、吟も見事な出来栄えに、美人お吉賞を受賞しました。

七月五日(月) 三菱自動車吟道部開設十周年記念会

池田顧問始め、会長、龍暘・大洲副会長外会員(二三名、迎える三菱自動車吟道部全員総勢約六〇名が参集して三田クラブにて盛大に開催されました。八〇歳を超える富沢・前田両師も参加され華を添えて頂きました。豊饒として吟道に精進されているお二人は、正に青春そのものです。

この記念にとの要請を受けて、小泉泰祥師が次の名句をものされ、これ又華を添えられました。

吟声 万里 三田の堂
酒を酌む 同門の意気揚る
遺訓元より知る 英傑の志
由来 敬愛す 天西郷
岡崎醉祥吟道部長を中心として弥栄を祈ります。

◎平成五年度

本会特別講座開催さる

九月一九日(日) 鷺宮老人福祉センターに於いて会長・龍暘副会長・橋本袴龍師二人を講師に迎え、橋本清祥指導局長始め指導局が中心となり本会特別講座が開催されました。七六名の方々が参集され終日熱心に受講されました。講座の半ばで本部役員(別紙別途各自配布)の認証式が行

われました。平成五・六年度 どうぞ宜しくお願ひします。又一度に十名以上の同志を集めて教場を開かれた橋本清祥・小泉泰祥・広瀬正城各先生方の吟道普及体験発表がありました。

一、橋本清祥指導局長(八王子南洲吟道会会長)

教場開設に当たり二〇〇通余りのダイレクトメールを知人等名簿を頼りに発送する等の苦勞話、「開設するのだ」という決心を先ずしなければならぬこと、場所(会場)の選定が大事なこと、呼びかけは身近な人から始めて、その他色々な関係別に高齢者を除いて適当と思われる方々をセレクトションして行ったこと、呼びかけ方は、詩吟の効能に始まって説得力あるもの(資料)を準備したこと、会員増強には何と言っても教場を増やすことが肝要であること等感銘深いものでした。

二、小泉泰祥広報部長

怪我の為欠席され次の文書を託されました。

「吟道普及活動について」

南洲吟道会会員として今何をなすべきか。南洲吟道会に入会しましたのは、昭和六一年十一月の事です。昭和四二年に詩吟と出会い、仕事の都合で中断を繰り返しながらも今日まで続けて参りましたのは、私にとって詩吟は不可欠のものであったからです。それは私のストレス解消法であり、健康法であります。吉永龍洲会長ご夫妻は、永年に亙り吟道の普及教育に多大の功績を挙げて来られました。熾日本吟道学院常務理事待遇として普及局を担当され、ご活躍中であります。青少年の健全育成は元より、急速に高齢化の進む現在吟道の果たす役割は、大なるものがあります。本年四月より吟道を普及するという役割の一端を担うことになり、改めて今自分に何が出来るのかを考えてみようと思ひます。

一、中町教場会員を増やすこと

(一) 現在 中町教場に在籍の会員さんに、新しい会員を紹介して頂けるような教場作りを目指して努力したい。(家族に対しても同様)

(二) 学院発行の「吟道のすすめ」や南洲吟道会発行の教場案内を利用して、ダイレクトメールを出す。(知人・友人・その他)又チラシ広告を出して見たい。

(三) 店頭(薬局経営)での訴求活動

腹式呼吸の効用を始めとする詩吟健康法を説明し気を養うことの重要性を話してみる。

(四) ポスターを作り効果的な場所に貼らせて貰う。

(五) 仕事に支障のない範囲で、稽古時間を増やす。

(六) 吟歴のある方の入会はいつでもよいが、初心者には、できれば三月と九月に一ヶ月のキャンペーン期間を設け、無料体験入会をして頂き、詩吟とはどんなものかを知って頂く努力をする。初心者向けの資料を用意する。

二、教場以外の普及活動

(一) 詩吟の会以外の場所で吟じてみる。

例えば、各種の祝辞や弔辞に代えて、又鎮魂の為に。町会の集まりに、バス旅行の間に、送別会や歓迎会に、聴衆の中に一人でも詩吟っていいものだなアと思ってくれる人があれば大成功!

(二) 地域の神社祭礼などの演芸奉納に参加してみる。

(三) 地域詩吟団体組織に加入し、南洲吟道会を知って貰う。

(四) 通信指導をする。

① 吟歴を有する方や、転勤その他で遠隔地にある方は、テープによる通信指導で効果が挙げ

ると思われる。指導に当たっては、ダブルカセットのテープレコーダーか、一台のテープレコーダーを必要とする。

②初心者は、テープを聞くだけの練習では難しい。音位を確認する楽器（コンダクター・キーボードピアノ等）や再現の為に八線譜を要する。月に一度は、直接指導が受けられる状態でなければ、初心者は習得が困難と思われる。

三、教場を開くことのメリット

一）指導させて頂くために、先ず自分自身が勉強するようになる。

二）吟道を通して、会員の皆様から色々なことを教えて頂き、人生がより豊かになる。

三）声を出す楽しさが分かってくる。これは健康上大変役に立つ。

近くにライバルがいても、恐れる事なく、「求めよさらば与えられん」を念頭に、普及に邁進して行きたい。続いてこそ、吟の道！

三、広瀬正城編集部長 急遽出張の為欠席

◎伊豆吟行研修会云報生口記

いずみ教場

武田道吟

「天災は忘れた頃にやってくる」の譬え通り、ある朝突然に吟行研修会の感想を書いて下さいとの依頼を受け、さて一ヶ月も前の事をどうやって書いていいものやら今回の吟行会は、いずみ教場ほぼ全員参加するというので私も初めて参加することにしました。仕事の都合上現地参加としましたが、山内さんが健康上の理由でダメになり、荒井先生の家の不幸で先生まで行けなくなり、荒井智子さんと二人だけの心細い限りの修善寺行きとなりました。修善寺のホテルに着いて挨拶もそこそこに汗拭く間もなく、アトラクション出演の為にリハーサル二、三回合わせただけで、なにしろぶっつけ本番に近い出演でした。どうにか踊りと詩吟がピツタリとはゆかないまでも、つじつまを合わせる事が出来ましたが後で考えると、とんでもない「お吉」でした。他の会の方々は趣向を凝らした出し物で、これは大分練習したなと思わせるものばかりでした。大宴会も瞬く間に終り、それぞれ部屋へ引き揚げた後で隣の男子部屋に移動して、湯呑み茶碗（中味はお酒）を片手に吉永先生ご指導の詩吟の稽古、途中詩吟を子守歌にひと寝入りして又起き出して飲み直す人もいた？ような。もってこびくくりしたのは、荒井先生の代わりに飛入り参上したIさん（当時はまだ入会してない）確か一詩吟なんか嫌いだと言って「いたとかかないとかそのIさんの参加で、一段と夜のレッスンは吉永先生も黙々と、繰り返して練習して頂き恐縮しておりました。Iさんいわく「先生もう一回行きますか」としまいに「Iさんで吟じよ」とも初めて詩吟をした人とは思えない日々とした吟じ方、皆ボカんとした様子で最後はIさんの独り舞台、普段は世を拗ねた様などころばかり見せているIさんからは考えられない真面目な一面を見て本当にビックリしました。気が付いたら時計の針は二時を返っていました。とうとうそのIさん、皆の前で一詩吟をやる」と約束させられ今ではいずみ教場の人となっています。

翌日は、寝不足の人あり、道路沿いの川の中にある「独鈷の湯」に入って来た強者もおり、これも亦感激、達磨山展望台で富士山を前にしての大合吟は圧巻でした。ゴミゴミした都会で神経を擦り減らしてストレスを一杯ためている人達に教えて上げたい。「スッキリするよ！」って。最後に吉永先生ご夫妻の飾らないお

人柄に直に接する事ができ、富沢さん・佐藤さん・高山さん方皆様にとても親切にして頂き大変楽しい旅行となった事を、心より感謝申し上げまして結びの言葉とさせていただきます。本当に有難うございました。

いずみ教場

村越晴吟

待ちに待った吟の研修会で、生まれて初めて乗る「ビュー号」その車中での楽しいこと。どこかの手品師？と思うような人が。向かいには十八歳？の鷺宮のお姉様が手拭いの端をくわえる一こまもあり、笑い転げている中にビューっと駅につき、バスに乗り色々廻り、ホテルに着いて少し経つと、仕事を終えて参加のいずみ教場の花形二人が着きました。ホテルでの大宴会も滞りなく終り、二次回は遠慮して部屋がいいとの皆の意見。これが中的大当たり！今迄数え切れない程旅行は行ってきましたが、これ程笑い転げて「実」になった夜はありませんでした。（お詫び！荒井先生欠席なのに盛り上がってしまい、「それはないよ」と言われそう。でも災い転じて福来る。荒井先生一人増えました！）息ピツタリの吉永先生ご夫妻の手のひらに、一人の素直なIさんが乗り、語り合い、歌あり、歌あり色々々と、アレヨアレヨという間に、すっかり吟のとりこになり、その気にさせた先生、魔法使い？ですネ笑い転げながら眠りにつき、朝目覚めにひと風呂浴び、バスに乗り絵葉書より奇麗な富士山を観て、その前で「富士山」の大合吟。「生きてて良かったなァァ」おわり！

いずみ教場

荒井智吟

吉永龍洲先生と楽しく語り、直接吟じられたことはとても幸せな事と満足しています。有難うございました。でも幸せな事と満足していません。有難うございました。「何か一言感想を述べよ」との連絡が入り一番苦手な事で暫し悩みましたが、楽しかったのだから、やはりお伝えしなくてはと思い拙いペンを執りました。何よりも凄いなと思ったことは、大勢の仲間が一堂に参集したこと。そして心を同じくする者が見えないところ吟を通して一つになれていることに素晴らしく感動を覚えました。達磨山展望台での大合吟をした時は、魂の嵩まりを感じ胸の熱くなる思いがこみあげてきました。「雄大な大自然を仰ぎ見て、自作の詩を吟じられる様になれたら、どんなに素晴らしいだろう」とこれ程思えた事はありません。

素晴らしい仲間がいることも素直に伝えられる様な気が致します。わが「いずみ教場」も今はメンバーが増えて九名になりました。楽しく楽しく学びあっています。荒井先生に学び、仲間にも学び、心通える詩吟の仲間が広がることを楽しみに、これからも学んでゆきたいと思えます。次回の吟行研修会を楽しみに！

◎詩歌投稿

瑤洋教場 大岩 千代子

往く船に落花しきりや嵐山
椎若葉たづねし寺は介山忌
鳥賊干せる小さき港も旅始め
ミサ終えし神父植うるや茄子の苗
身切地蔵愁ひは若葉翳りかな